

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社博展 上場取引所 東
 コード番号 2173 URL <https://www.hakuten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 田中 雅樹 TEL 03-6278-0010
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,253	△46.7	△438	—	△434	—	△315	—
2020年3月期第1四半期	2,352	△11.5	△30	—	△27	—	△25	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △314百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△40.39	—
2020年3月期第1四半期	△3.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	4,610	856	18.2	107.56
2020年3月期	4,372	1,254	28.3	158.86

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 839百万円 2020年3月期 1,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	11.00	17.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点での経営成績や新型コロナウイルスによる業績動向の不確実性に鑑み、中間配当を0円、期末配当を未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,950	△48.6	△733	—	△725	—	△487	—	△62.41
通期	9,400	△27.3	△400	—	△384	—	△256	—	△32.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,800,518株	2020年3月期	7,935,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	135,182株	2020年3月期	135,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,800,518株	2020年3月期1Q	7,909,405株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	2,352	1,253	△1,098	△46.7
売上総利益 (%)	672 (28.6)	311 (24.9)	△360	△53.6
営業損失(△) (%)	△30 (△1.3)	△438 (△35.0)	△408	—
経常損失(△) (%)	△27 (1.2)	△434 (△34.6)	△406	—
親会社株主に帰属する四半期 純損失(△) (%)	△25 (△1.1)	△315 (△25.1)	△290	—

(注) 売上総利益、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失の下段に記載している数値は、それぞれ売上高に対する割合を示しております。

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、展示会・イベント開催の自粛や延期が相次いだこと、経済活動の鈍化により企業の広告宣伝費の使用減少など、厳しい事業環境となっております。

このような状況の中、当社グループは急速に変化する事業環境に対応しながら、中期ビジョン「ココロ揺さぶる瞬間（とき）を創り、世の中を次へ動かす」の実現に向けて取り組んでおります。

当事業年度におきましては、高まるオンライン上でのプロモーションやブランディング活動への需要に対し、グループシナジーをより活かし、リアルとデジタルの垣根を超えた視点で「価値ある体験」を再設計し、新たな生活様式に適応した統合型のコミュニケーションデザインを提供すべく、サービスを進化させてまいります。また、当社グループの安定した経営基盤を構築すべく、下記の重点分野に注力し取り組んでおります。

- ① リアルとデジタルのハイブリッド型のコミュニケーションデザインの確立
- ② 業務プロセス改善と戦略的IT活用による新たな働き方の推進
- ③ コスト管理の徹底と財務基盤の強化

当第1四半期連結累計期間における売上高は、予定をしていた各種展示会・イベント等の中止の影響を受け、12億53百万円(前年同四半期比46.7%減)となりました。

各商材カテゴリー別の売上高の状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
展 示 会 出 展	833	32	△800	△96.1
イ ベ ン ト プ ロ モ ー シ ョ ン	440	515	75	17.0
商 談 会 ・ プ ラ イ ベ ー ト シ ョ ー	603	39	△563	△93.4
カ ン フ ェ レ ン ス ・ セ ミ ナ ー	75	7	△68	△90.7
商 環 境	185	485	299	161.2
デ ジ タ ル ・ コ ン テ ン ツ & マ ー ケ テ ィ ン グ	185	157	△28	△15.3
そ の 他	27	15	△11	△42.5
売 上 高 合 計	2,352	1,253	△1,098	△46.7

売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う展示会・イベントの開催自粛の影響により、展示会出展、商談会・プライベートショー、カンファレンス・セミナーにおいて、売上高が大きく減少しました。一方で、期間限定の大手企業のブランディング空間や大型ショールームの内装工事等を請け負うことにより、商環境やイベントプロモーションにおいては、前年同四半期に対して増加しました。

売上総利益は、3億11百万円（前年同四半期比53.6%減）、売上総利益率が24.9%（前年同四半期は28.6%）となりました。売上高の大幅な減少と、商材カテゴリーの売上高構成や大型プロジェクトの利益率の低下等が影響しました。

販売費及び一般管理費は、7億50百万円（前年同四半期比6.9%増）、販売費及び一般管理費率が59.9%（前年同四半期は29.8%）となりました。稼働コントロールによる人件費の抑制、経費計画の見直しによるコスト削減等、事業環境の悪化に伴いローコスト・オペレーションの徹底を図りましたが、売上高の減少分を吸収するには至りませんでした。

この結果、営業損失は4億38百万円（前年同四半期は営業損失30百万円）、経常損失は4億34百万円（前年同四半期は経常損失27百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億15百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. リアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業^{※1}

当第1四半期連結累計期間におけるリアルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、11億24百万円（前年同四半期比48.7%減）、セグメント損失は3億91百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

これは、前述のとおり、新型コロナウイルスの影響により、展示会出展、商談会・プライベートショー、カンファレンス・セミナーの売上高が大幅に減少したことによります。

b. デジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業^{※2}

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルエクスペリエンス&コミュニケーション事業の売上高は、1億29百万円（前年同四半期比20.6%減）、セグメント損失は47百万円（前年同四半期はセグメント損失16百万円）となりました。

これは、グループ会社の株式会社アイアクトと株式会社スプラシアにおいて、前年同四半期の大型プロジェクトに見合う受注を獲得できず、前年同四半期比で売上高が減少したことによります。

- ※1. 展示会・イベント等、人と人が直接出会う“場”・“空間”において、様々な体験価値を通じて提供される製品・サービスの宣伝・販売活動を「Experience マーケティング」と位置付け、“コミュニケーション”に関わるあらゆる「表現」「手段」「環境」を最適化し“デザイン”することで、サービスを展開しております。
- ※2. インターネットを活用したビジネスモデルの策定から戦略的なWebサイト構築やアプリケーション制作をはじめとし、ビジネス向けアプリ制作・配信・管理プラットフォームやAI・コグニティブ領域など、最先端のデジタル・テクノロジーを集積し“デザイン”することでサービスを提供しています。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは、持続的成長の実現を可能とし、長期にわたり企業価値を向上させるために、事業活動により創出した営業キャッシュ・フローを、規律ある成長投資の実行や、株主の皆様への長期的かつ安定的な利益還元に向けてながら、健全で強固な財務基盤を確立することを財務方針としています。

当事業年度におきましては、資金サイクルの向上やコスト削減等を通じて、更なるキャッシュ・フローの改善に努めております。また、当第1四半期に手元流動性を高め財務安定化を図るべく、運転資金等の確保を目的に取引金融機関より20億円の借入を実行しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産は、46億10百万円（前連結会計年度末比2億37百万円増）となりました。これは、受取手形及び売掛金が14億8百万円減少した一方、現金及び預金が15億8百万円増加したこと等によります。

負債は、37億53百万円（前連結会計年度末比6億35百万円増）となりました。これは、買掛金が3億75百万円、賞与引当金が2億75百万円、未払法人税等が1億18百万円減少した一方で、借入金が合計で17億34百万円増加したこと等によります。

純資産は、8億56百万円（前連結会計年度末比3億97百万円減）となりました。これは、事業活動の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失を3億15百万円計上したことと、配当金の支払に85百万円を充てたこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日(2020年8月14日)公表の「2021年3月期 連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,744	2,345,769
受取手形及び売掛金	2,159,298	750,477
仕掛品	323,886	381,556
原材料及び貯蔵品	1,974	2,124
未収還付法人税等	—	10,210
その他	205,450	153,119
貸倒引当金	△11,874	△9,311
流動資産合計	3,516,479	3,633,947
固定資産		
有形固定資産	231,742	252,423
無形固定資産		
リース資産	28,295	21,296
その他	215,601	201,976
無形固定資産合計	243,896	223,273
投資その他の資産		
投資有価証券	8,265	9,272
繰延税金資産	135,465	254,777
敷金	234,599	234,566
その他	49,139	45,843
貸倒引当金	△46,849	△43,782
投資その他の資産合計	380,620	500,678
固定資産合計	856,259	976,375
資産合計	4,372,738	4,610,323
負債の部		
流動負債		
買掛金	715,726	340,607
短期借入金	912,000	2,160,000
1年内返済予定の長期借入金	322,980	425,696
未払法人税等	119,878	1,122
賞与引当金	293,435	17,568
工事補償引当金	5,271	26,035
その他	686,068	337,185
流動負債合計	3,055,360	3,308,215
固定負債		
長期借入金	54,281	438,335
その他	8,124	6,790
固定負債合計	62,405	445,125
負債合計	3,117,765	3,753,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	181,049	181,049
資本剰余金	295,850	295,850
利益剰余金	856,294	455,446
自己株式	△97,002	△97,002
株主資本合計	1,236,191	835,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,970	3,686
その他の包括利益累計額合計	2,970	3,686
新株予約権	15,811	17,951
純資産合計	1,254,973	856,982
負債純資産合計	4,372,738	4,610,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,352,601	1,253,832
売上原価	1,680,426	942,054
売上総利益	672,174	311,778
販売費及び一般管理費	702,237	750,708
営業損失(△)	△30,062	△438,929
営業外収益		
受取利息	99	78
受取配当金	88	159
貸倒引当金戻入額	3,964	5,624
雑収入	642	594
営業外収益合計	4,794	6,456
営業外費用		
支払利息	2,251	1,574
雑損失	289	69
営業外費用合計	2,540	1,644
経常損失(△)	△27,809	△434,118
特別利益		
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,731	△434,119
法人税、住民税及び事業税	501	525
法人税等調整額	△3,226	△119,603
法人税等合計	△2,725	△119,077
四半期純損失(△)	△25,006	△315,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,006	△315,042

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純損失（△）	△25,006	△315,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△626	716
その他の包括利益合計	△626	716
四半期包括利益	△25,632	△314,325
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,632	△314,325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	デジタルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,189,111	163,489	2,352,601	—	2,352,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	25,429	25,644	△25,644	—
計	2,189,326	188,919	2,378,245	△25,644	2,352,601
セグメント損失(△)	△12,673	△16,663	△29,336	△725	△30,062

(注) 1. セグメント損失の調整額△725千円は、セグメント間取引であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	リアルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	デジタルエクス ペリ エンス&コミュ ニケーション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,124,030	129,801	1,253,832	—	1,253,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	12,933	12,942	△12,942	—
計	1,124,039	142,735	1,266,775	△12,942	1,253,832
セグメント損失(△)	△391,073	△47,954	△439,027	97	△438,929

(注) 1. セグメント損失の調整額97千円は、セグメント間取引であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

② 受注状況

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	3,628,097	137.5	3,966,078	129.5
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	204,957	142.6	338,664	91.3
合計	3,833,054	137.8	4,304,742	125.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	620,658	17.1	2,775,191	70.0
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業	107,628	52.5	275,712	81.4
合計	728,287	19.0	3,050,904	70.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	2,189,111	87.5
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	163,489	105.1
合計(千円)	2,352,601	88.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	1,124,030	51.3
デジタルエクスペリエンス& コミュニケーション事業(千円)	129,801	79.4
合計(千円)	1,253,832	53.3

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。